

# 香川県内企業における外国人宿泊客の受入状況

香川県の訪日外国人延べ宿泊者数は2012年に4万人だったものが、2013年以降、急速に増加し、2018年には13倍以上の55万人に達している。その増加している外国人宿泊客について、県内企業の宿泊施設における対応状況や瀬戸内国際芸術祭での宿泊状況等の実態を把握するため、アンケート調査を実施した。

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の概要

- ①調査対象： 県内に事業所のある企業 314 社
- ②調査方法： 郵送によるアンケート方式
- ③調査時期： 2019年3月22日～4月25日
- ④回答状況： 有効回答企業数 79 社  
有効回答率 25.2%

### (2) 回答企業の属性分布

宿泊施設のタイプをみると、『旅館』が40.8%と最も多く、『ホテル』が34.2%、「その他(簡易宿所等)」25.0%と続く。地域別に回答企業を見ると、『島嶼部』が30.4%と最も多く、次いで『高松市』が27.8%と続く。

施設タイプ	回答数	% (n=77 除く無回答)
旅館	31	40.8
ホテル	26	34.2
その他(簡易宿所等)	19	25.0

地域	市町名	回答数	% (n=79)
高松市	高松市	22	27.8
島嶼部	直島町、小豆島町、土庄町	24	30.4
東讃地域	東かがわ市、さぬき市、三木町	7	8.9
中讃地域	丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、綾川町、多度津町、琴平町、まんのう町	19	24.1
西讃地域	三豊市、観音寺市	7	8.9

(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない場合がある。(以降、本文中の図表も同様)

## 2. 調査結果

### (1) 外国人宿泊客の受入状況

#### 【8割以上の施設が外国人を受け入れ】

宿泊施設へ「外国人宿泊客の受入状況」について尋ねたところ、87.2%の施設が受け入れている（「積極的に受け入れている」と「受け入れている」の合計）ことが、明らかとなった（図表3）。

受入状況	回答数	% (n=78 除く無回答)
積極的に受け入れている	23	29.5
受け入れている	45	57.7
現状、受け入れていないが、今後、検討したい	3	3.8
受け入れていない	7	9.0

### (2) 宿泊者数の増減について

#### 【6割以上の施設で外国人宿泊客が増加】

外国人宿泊客の増減状況を尋ねたところ（図表4）、全体では「増加」が64.2%、「横ばい」32.8%、「減少」3.0%という回答が得られ、近年の外国人宿泊客の増加を裏付ける結果となった。

増減状況	回答数	% (n=67 除く無回答)
増加	43	64.2
横ばい	22	32.8
減少	2	3.0

一方、日本人について尋ねた結果が図表5である。結果は、「横ばい」が半数以上の53.2%で最も多く、また「増加」が10.4%に対して「減少」が36.4%となっている。外国人宿泊客が大幅な「増加」であるのに対して、日本人宿泊客数は「減少」が「増加」を上回っているのが現状である。

回答数	% (n=77 除く無回答)
増加	8 10.4
横ばい	41 53.2
減少	28 36.4

### (3) 外国人宿泊客の国籍

#### 【台湾が最も多い】

宿泊した外国人客の国籍を複数回答で尋ねたところ(図表6)、「台湾」が89.2%で最も多く、次いで「中国」78.5%、「韓国」76.9%、「香港」73.8%、「ヨーロッパ」56.9%、「北米」46.2%、「オーストラリア」35.4%、「東南アジア」30.8%と続く。上位4か国は、高松空港と国際線直行便があり、訪日アクセスの容易さから、宿泊につながっていると考えられる。

複数回答数	% (n=65 除く無回答)
台湾	58 89.2
中国	51 78.5
韓国	50 76.9
香港	48 73.8
ヨーロッパ	37 56.9
北米	30 46.2
オーストラリア	23 35.4
東南アジア	20 30.8
その他	14 21.5

### (4) 集中する月

#### 【8月が最も多い】

外国人の宿泊が集中している月を複数回答で尋ねたところ(図表7)、「1月」が4.8%、「2月」27.0%、「3月」36.5%、「4月」36.5%、「5月」31.7%、「6月」6.3%、「7月」9.5%、「8月」39.7%、「9月」14.3%、「10月」38.1%、「11月」33.3%、「12月」3.2%の構成となっており、「8月」が最も多くなっている。季節的には、天候に恵まれる春の3~5月と秋の10~11月、長期休暇が見込まれる8月に集中していることが特徴である。

複数回答数	% (n=63 除く無回答)
1月	3 4.8
2月	17 27.0
3月	23 36.5
4月	23 36.5
5月	20 31.7
6月	4 6.3
7月	6 9.5
8月	25 39.7
9月	9 14.3
10月	24 38.1
11月	21 33.3
12月	2 3.2

### (5) 瀬戸内国際芸術祭での宿泊

#### 【外国人宿泊客の増加を期待】

前回2016年開催の瀬戸内国際芸術祭において、外国人の宿泊状況を尋ねたところ(図表8)、「宿泊した」が69.2%、「宿泊しなかった」16.9%との回答があり、イベント開催に伴い県内で外国人の宿泊が広く確認された。

今回2019年開催の芸術祭における外国人の宿泊予想について(図表9)、「増加」予想の比率は51.5%と最も多く、県内施設の期待の大きいことがうかがわれる。「横ばい」17.6%、「減少」4.4%等の構成となっている。

回答数	% (n=65 除く無回答)
宿泊した	45 69.2
宿泊しなかった	11 16.9
覚えていない	9 13.8

回答数	% (n=68 除く無回答)
増加	35 51.5
横ばい	12 17.6
減少	3 4.4
わからない	18 26.5

## (6) 外国人宿泊者からの要望・意見

### 【案内改善の要望多い】

この設問は、外国人宿泊者から宿泊施設に寄せられた要望や意見について、複数回答で尋ねたものである。最も多く寄せられたのは、「アクセス案内（注：施設へのアクセスまたは道路の案内改善）」で70.9%、続いて「情報提供」43.6%、「通信環境」が30.9%、「予約対応」23.6%、「食事」18.2%、「室内設備」18.2%、「支払い」10.9%、「チェックアウト」9.1%、「滞在中の怪我・病気」3.6%、「館内表示」1.8%となっている（図表10）。

	複数 回答数	% (n=55 除く無回答)
アクセス案内	39	70.9
情報提供	24	43.6
通信環境	17	30.9
予約対応	13	23.6
食事	10	18.2
室内設備	10	18.2
支払い	6	10.9
チェックアウト	5	9.1
滞在中の怪我・病気	2	3.6
館内表示	1	1.8
その他	3	5.5

### おわりに

昨年来、海外の有名誌上で瀬戸内の魅力が紹介され、海外からたくさんの観光客が香川県を訪れるようになっている。そして、宿泊施設が多く外国人宿泊客を受け入れている。一方、外国人宿泊客からは、「アクセス案内」や「情報提供」など、かなりの改善要望が寄せられている実態も明らかとなっている。外国人に引き続き来県し宿泊してもらうには、要望等への対応を着実に進めていくことが重要である。

以上